

米国発の新興 AI 動作解析企業が、茨城県への進出を決定しました！

このたび、世界のデータと独自の生命物理シミュレーションを統合した技術によって、水産養殖分野に、大きな変革を起こそうとしている**米国企業「NeuralX（ニューラル エックス）」社が、茨城県へ進出することが決定**しましたので、お知らせいたします。

本県では、外資系企業等の誘致により、海外の優れた人材や技術を本県に呼び込み、雇用やイノベーションを創出するため、本県の投資環境のPRや県内企業等とのビジネスマッチングの機会創出、外資系企業等向けの各種支援制度を設けており、同社も本県の支援制度を活用し、今回の進出決定に繋がりました。

本県に進出を決めた米国企業「NeuralX」とは

米国企業「NeuralX」のCEO 仲田 真輝（なかだ まさき）氏は、技術が自然と調和し、人々の生活を豊かにする未来を創造するために起業し、社会課題の解決に取り組んでおり、この度、日本法人を茨城県つくば市に設立しました。



【経歴】

2011年に日本の大学を卒業後、渡米。カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のコンピュータサイエンス博士課程に進学し、人工生命分野を研究。

2019年2月、同校の動作解析専門のAI研究者たちとともに、米国でNeuralXを設立。

【企業概要】

自動尾数カウントやバイオマス（生物量）追跡システムを主力製品としており、人工知能（AI）分野であるコンピュータービジョン技術を活用して、生産者に魚の個体数とバイオマスを正確かつ効率的に監視・管理するための精密なツールを提供しています。

この技術によって、魚を数えるだけでなく、給餌スケジュールを正確に見積もることができるため、餌の無駄を減らし、より持続可能で経済的な水産養殖産業を目指すことができます。

この技術を活用し業界を越えて、様々な産業に展開することを目指しており、自然の生物の動きや環境を理解するために、人間や動物の振る舞いをリアルに再現する技術を創造しています。

【目標と展望】

自社の技術をさらに進化させ、水産養殖業界で大きなシェアを確立することを目標とし、業界を超えた多様な分野（人間の動作解析・農業・環境科学・都市計画）への展開を構想しています。

また、AIと機械学習の分野における研究開発に注力し、より洗練されたアルゴリズムとモデルを開発することで、より正確で効率的な解析と予測を実現し、顧客に対して、より精密でその希望に沿った解決策を提供することが可能になります。

同社の取り組み等は、こちらのウェブサイト（<https://www.neuralx.ai/>）（英語 HP）をご覧ください。

【問合せ先】茨城県営業戦略部 国際渉外チーム
グループリーダー 西口（担当：澤佐）
☎ 029-301-2853（直通）